

広報

なんたん



Vol.44

【特集】
～輝けもの・技・人～ものづくりのまち南丹市

2010年12月・
2011年1月号

広報 なんたん もくじ

- ② **【特集】** ～輝けもの・技・人～
ものづくりのまち南丹市
- ⑥ 人・この道☆ひと筋
- ⑧ 南丹ものづくりの祭典
- ⑩ 財政状況を公表します
- ⑭ トピックス
・地域の相談役民生児童委員を紹介します
- ⑯ 行政トピックス
・「南丹市くらしの便利帳」
共同発行に係る協定書調印式 ほか
- ⑰ インフォメーション
・南丹市の古い写真、戦争に関する資料を
探して探しています
- ⑲ みんなで描こう協働のキャンバス
- ⑳ いきいき南丹
- ㉑ 人権の窓／環・境・市・民
- ㉒ 図書館へようこそ！／暮らしにホッと
- ㉓ ぶらりなんたん
- ㉔ みんなのひろば
・南丹市婚活イベント ほか
- ㉖ ニュースダイジェスト
- ㉘ なんたんミュージアム／わが家のアイドル

今月の表紙

京都伝統工芸大学校のT A S K
祭で陶芸体験をする黒田達月さん。
「おばあちゃんの抹茶碗を作
りました。少し難しかったけど仕上
げはうまくできました。おばあ
ちゃんの喜ぶ顔を早く見たいです」
と感想を話してくれました。

く輝けもの・技・人く ものづくりのまち南丹市

南丹市には、陶芸、木工、染色など、さまざまな分野の工芸に携わる方が多数おられます。

感性を磨き創造や芸術性に優れた独自の境地を示す技を持つさまざまな工芸文化のアスリートが地域の中で、あるいは国内外を舞台として活躍されています。

これら市民の手による多彩な「ものづくり」の取り組みは、市の大きな特徴であり、大変貴重な財産です。



木工 古谷 禎朗 さん（美山町）

美山町板橋の家具工房でオーダー家具や作品を制作。「第57回 日本伝統工芸展」などに入選。

http://www.geocities.jp/kodama_woodwork/

木

工との出会いは約10年前。子どものころからものを作ることが好きで、ものづくりにかかる仕事がいとおしい木工所に就職しました。会社では量産型

▶深く掘りこんだ座面と角度を寝かせた高い背もたれが特徴のロッキングチェア



のフラッシュ家具（ベニヤ板で貼り合わせて作る家具）を作る仕事を担当して、それが木工だと思っ
ていましたが、勉強するうちに、
無垢材を使い伝統工法で組み上げ
る木工のジャンルがあることを知
りました。別の部署に無垢材を扱
う職人がおられ、休憩時間に技術
を教えていただいたり、本などで
勉強したりするうちに、無垢材を
使った仕事がしたいと思い退社。
独立するプランを立て、福知山の
職業訓練校で1年間、無垢材を使
った木工技術の基礎を学びまし
た。卒業後は、家具職人として3
年間、オーダー家具を手がけなが

ら、漆などの知識は教室などに通
って勉強し、両親と暮らしていた
美山で工房を構えました。

美

山 のよさは、自然豊かな環
境で仕事ができることで
す。山の木々や川の流れ、窓から
見える四季の情景などを、木目を
使って作品で表現したり、木の幹
から伸びる枝のイメージを机の脚
に生かしたりしています。都会の
工房には無い、デザインのヒント
が身近にあります。

一方、工房が美山にあるから気
を使わなければならないこともあ
ります。木工は湿度の影響を大き
く受けます。美山は都会に比べ湿
度が高く、
湿度の低い
都会のマン
ションなど
で暮らす方
に使ってい
ただくため
には、同じ
環境で制作
しなければ
ならないの
で、除湿機
やエアコン
を使って工
房内の湿度
を抑えるよ

う気を付けています。

材

木は大阪や岐阜などの材木
屋から仕入れられます。お客さ
んから材木は美山のものを使って
おられるのですかと期待を込めて
聞かれることがあります。残念
ながら美山に植林されているのは
スギやヒノキで、私が制作する家
具用材には向きません。不謹慎と
思われるかもしれませんが、美山
で御神木のトチの木を見ると切っ
たら良い木目だろうなとか、良い
テーブル板が何枚できるかなと思
ってしまうことがあります。木の
種類が同じでも、色や木目など、
個性が違います。『縁』あって巡
り合った素晴らしい木にのこぎり
を入れるときは一番悩みますし、
1日悩んでももできなかったこと
もあります。何百年もかけて育っ
てきた木なので、それを考えると
余計に切れなくなります。

私

の作品と量産品とでは価格
に差があります。まずそこ
が壁になりますが、作品にそれだ
けの価値を見いだしていただけな
いといくらお金持ちでも買ってい
ただけません。展示会などで、
「良い作品」と言っていただけで
も、価格を伝えると良い作品だけ
で終わってしまうことがあります。
購入していただくためには、



▲伝統技法（包み蟻組み）で接合された引き出し

作品を見た人を『感動』させない
といけません。私が作品の中に多
く用いる木組みや拭漆などの伝統
技法の魅力を感じていただき、デ
ザインや機能性などで作品を見た
人の心を動かすことができれば受
注につながります。

当

初は注文制作がほとんどで
したが、現在は、注文制作
と展示会などに出品した作品を販
売する現品販売の割合が半々にな
りました。木と対話し、自分の感
性に従い技術を注ぎ込んだ作品を
気に入っていただけのことには、大
変うれしいことです。そのため
に、公募展へ積極的に出展した
り、勉強会や研修会にも参加し、

切磋琢磨しながら良い作品を作りたいと励んでいます。

南

丹市を『ものづくりのまち』にするために大事なことは、特にプロの作り手個々の意識だと思えます。都会に出て行つての宣伝活動も大事ですが、根本的には『ものの力』にかかっていると思います。『ものの力』は自己責任であつて、美山のような不便なところで活動しているから売れないなどと言ひ訳するのではなく、そんな不便なところに、わざわざ行つてまでも見てみたい、欲しい、と思わせるだけのものづくりを私たちがしなければなりません。それができてやつと『ものづくりのまち』になるのではないのでしょうか。

徒

弟制度がほぼ崩壊した現在では、伝統技術をどのようにな承していくかという課題があります。全国的に職業訓練校も少なくなつていゝ中で、私が木工という世界で生かしてもらつていゝことに感謝し、技術を学ぶだけでなく、自分のできる範囲で後輩に技術を伝えていくこともこれからの私の役目だと思つています。また、伝統を守り、残しつつも新しいものを取り入れ、伝統工芸の世界に新たな風を吹かせたいです。



陶芸 長元 宏 さん (日吉町)

日吉町胡麻の陶房「宏」で皿や器、コーヒーカップなどの食器を制作。京都市内の陶器店を中心に品物を納める。ピアカップは例年売り切れる人気商品。

小

さいころからものを作るのが好きでしたが、ものづくりの仕事をしたがうと思つたのは高校を卒業するとき。京都府立陶工高等技術専門校で2年間ろくろの基礎技術を学びました。卒業後は亀岡の陶芸家に師事し修行。1年後、清水焼の煎茶道具を作る工房に就職し、急須や煎茶湯のみなどを作るろくろ師として15年間働きました。

煎茶湯のみの特徴は、6客1組の湯のみをすべて同じように作らなければいけないこと。形や厚みなど、見本の寸法を調べながら寸分の狂いなく、手作業で器を作りました。

工

房で働きながら、独立を考へ、子どもの小学校入学を契機に移住先を探してたまたま訪れたのが日吉でした。自然環境が良く、樹木園のある胡麻郷小学校に衝撃を受け、胡麻に工房を設けました。日吉は時間の流れも穏やかで、夏は工房の窓を開けて作業します。広い空や緑豊かな山を眺め、自然を感じながら気持ち良く仕事ができます。人が少なく寂しいと感じることもありませんが、都会にはないリラックスできる環境です。

私

の作る品物の特徴は見た目よりも軽いこと。物を入れたり、盛り付けたときの使いやすさを第一に考え、強度を保ちつつ肉厚を薄く仕上げています。そして、私が一番こだわっているのは



「きちつとしたもの」を作ることに。煎茶湯のみを同じ形に作った経験、習慣は抜けませんので、寸法を測って大ききの揃った品物を作ります。寸法を気にしない大胆な仕事はできませんが、職人気質の私のこだわりです。

焼

き物は同じ釉薬でも焼き方や温度、土を変えることで色に変化が生まれます。同じ方法で制作しても違ったものができることがありますし、焼き物には方程式はありません。品物を作りつつ、試行錯誤を重ねながら新しい発見ができ、気に入るものが経験とともに、一つ二つと増えていけばと思っています。

品 物を対面販売する機会はあまりありませんが、市のイベントなどに参加し、お客さんと



▶人気の品『月白掛分ビアカップ』

会話をするのはとても楽しいです。手にとって品物を見ていただき、制作の模様や出来栄えについて話し合うことは、自分の感覚との相違に気付く良い勉強の機会となります。地域の保育所や小学校で陶芸教室をしたり、地域の祭りなどに参加したりすることも、大吉に暮らし、ものづくりをする私が生み出す品物に影響を与えてくれると思っています。

私は茶わん屋ですので、作るものは作品ではなく品物、商品です。日々の生活の中で使っていたことが私の喜びです。

家族が私の作った器に食べ物を盛り付けたとき、「おいしそうに見える」と言ってくれるとすごくうれしいです。また、品物を東山区の陶器店『ひの木』に置かせてもらっています。長元さんの品物よく売れている」と言われると制作意欲が沸いてきます。定番のものでも新たな試みを加え、少しずつ変化を付けることでたくさんの方に手に取ってもらえる工夫をしています。これからも使ってもらえる品物作りを続けていきたいです。

「ものづくり」の魅力を発信



南丹市長 佐々木 稔納

いよいよ今年は『国民文化祭京都2011』本番の年です。南丹市では昨年、NPO法人京都匠塾とタイアップして、ものづくりのまち南丹市をアピールし、国民文化祭に向けた機運の醸成を目的にマイ箸・マイ茶碗づくりキャンペーンやプレイベントとして南丹ものづくりの祭典を開催しました。

国民文化祭は、昭和61年に第1回大会が東京都で開催され、それ以降毎年全国の都道府県を巡回し、京都での開催は初めてとなります。皆さんが日ごろ行われているさまざまな文化・芸術活動を全国的な規模で発表し、それらを鑑賞する場となるもので、全国から

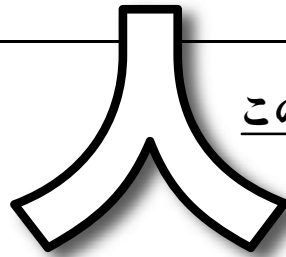
多くの「文化」や「人」が集まり、交流し、いろいろなものに出会える「国内最大の文化イベント」です。

10月29日から11月6日まで、府

内各地でさまざまなイベントが催される中、南丹市では「美術展『工芸』」想いを技に 暮らしに息づく用の美 工芸の祭典」を開催します。南丹市立文化博物館、国際交流会館、町家などを会場に、工芸の素晴らしさをお伝えできるよう、ものづくりに親しむ方々の工芸作品を全国から公募し、洗練された技が光る作品を展示するとともに入賞者を表彰します。

また、南丹市内に点在する手仕事の工房やお勧めスポットを掲載し、ものづくりとのふれあいや豊富な秋の恵みを広く紹介する「工房と里の秋めぐり『里の秋マップ』」を作成します。

全国から京都へ集まって来られる参加者や観客に、新たな創造と感動が与えられる南丹市ならではの「ものづくり」の魅力を発信したいと考えています。



秋の叙勲受章者



「地方自治の発展に貢献」

旭日小綬章

吉田 繁治さん(日吉町・77)

昭和58年から旧日吉町議会議員を6期、また、平成18年から1期4年間南丹市議会議員を務められました。旧日吉町では、ダム建設関連事業、基幹交通網の整備促進、小学校の統合問題など多くの課題に取り組み、平成13年から2年間は町議会議長として、日曜議会の開催、女性農業委員の初推薦など住民の声を行政に生かされました。合併協議会委員も務められ、市発足後の2年間は議会運営委員長、その後2代目市議会議長に就任。議員定数の見直しなど議会活性化の取り組みと同時に、地域の均衡ある発展に向けて尽力されました。また、日吉町農業委員会、京都農業共済組合理事、日吉町森林組合理事を歴任され、農林業の振興にも貢献されました。



「新市の円滑な船出に尽力」

旭日双光章

高橋 芳治さん(八木町・73)

平成7年から3期、10年2カ月間、旧八木町議会議員に選出され、平成15年から2年2カ月間は町議会議長に就任。文教厚生常任委員長として町内小中学校の校舎改修や公立南丹病院の増床計画の推進、総務常任委員長として八木駅西地域の治水対策や下水道整備の促進などに力を注ぎました。また、旧4町合併に向けた合併協議会では総務・企画・議会小委員会委員長を務め、議会議員の定数、各種条例・規則、防災体制など、さまざまな調整にその卓越した手腕を発揮されました。市合併後の平成18年3月から2年間は初代市議会議長として、新市の基盤づくりと地域の均衡ある発展、市民福祉の向上に尽力されました。

☆叙勲は栄誉のしるし☆

勲章は、国家や公共に対して功労のあった方に国から授与される記章のことで、春秋叙勲のほかに、危険業務従事者叙勲、高齢者叙勲、死亡叙勲などがあります。

春秋叙勲は年に2回、4月29日と11月3日付けで授与され、死亡叙勲は勲章の授与の対象となるべき方が死亡された場合に、春秋叙勲とは別に随時勲章を授与されます。

昭和38年から3期、12年間、旧日吉町議会議員に選出され、地域と町行政のパイプ役として地域住民の意見を行政に反映させ、まちの基盤づくりに尽力されました。

昭和46年から2年間、土木常任委員長を務め、胡麻地区の簡易水道施設の完成や中央簡易水道工事に力を注ぎ、飲料水の供給施設整備に向け先導的な役割を果たされました。

また、旧日吉町の最大の課題であった日吉ダム建設にあたっては、計8年間ダム対策特別委員会委員として水没地域住民の生活再建を最優先に関係機関と交渉するとともに、地域が寂れないよう地域の振興策を積極的に提言するなど、日吉ダムの完成に大きく寄与されました。



「まちの基盤づくりに寄与」

旭日単光章

滝村 茂さん(日吉町・88)

高齢者叙勲 危険業務従事者叙勲 受章者



「自衛隊の充実発展に尽力」

瑞宝単光章

清原 輝夫さん(日吉町・61)

昭和42年7月に陸上自衛隊員として入隊され、平成15年7月に3等陸尉として定年退職するまでの36年間に渡り、自衛隊の充実発展に尽力されました。

平成10年1月に准陸尉に昇任され、同年3月からは関西補給処桂支処総務部総務課付准尉として、庶務、人事、文書、補給、訓練などの業務について、若年隊員を指導し、円滑な総務業務の推進に努められました。

また、所属隊員の状況を的確に把握し、豊富な経験を基に親身な指導と適切な助言を行い、勤務意欲の向上と団結の強化を図り、円滑な隊務運営に貢献されました。

までに取り扱われた相談事案は、およそ750件にもなり、平成19年度からは京都府行政相談委員協議会副会長も務めておられます。

行政相談委員とは：

総務大臣から委嘱を受けて活動する無報酬のボランティアで、全国すべての市町村に配置。市民からの道路、河川、労働、福祉などに関する相談、苦情、要望を受け付け、解決方法の助言や関係機関への通知などを行います。

平成5年から、17年もの長きに渡り、南丹市担当行政相談委員として活動されてきた功績に対し、総務大臣から表彰を受けられました。八木公民館で毎月1回、定例行政相談所を開設するなど、現在



総務大臣表彰

南丹市担当行政相談委員

麻田 勝司さん(八木町)



家をお借りして工芸品などを展示。町家ならではの奥へど、城下町の面影を残す空間が作品を引き立てました。と休み（アトリエみみ） ②吹きガラス作品展示（小林酒店） ③ストーンさん宅） ④藍染め、陶芸、染織作品展示（合羽家） ⑤宝さがしスタン形の竹中）



くりの祭典 ントプログラム

祭・京都2011のイベントとして、「丹ものづくりの祭典」を開催。府内から公品コンテストの表彰、町家をお借りしての「南丹文化ジョイントプログラム」を開催し、品が南丹市に集結しました。

南丹美術工芸教育展の作品を見て回る親子

- ⑤ 絵画作品の部
- ⑥ 立体作品の部
- ⑦ パートナースクール展示



工芸体験コーナーでものづくりを体験

- ⑧ 女性の館小物づくり体験
- ⑨ ストーンペインティング体験
- ⑩ マイ茶碗づくり体験
- ⑪ なべしぎづくり体験



工品





⑭市内在住の工芸作家を紹介するのぼり旗
 ⑮国民文化祭・京都2011のメッセージソング「微笑みの空」を歌う和紗のミニライブ
 ⑯⑰⑱一般公募の工芸作品展で入賞された作品



園部町本町と新町に残る町と続く細長い土間や坪庭な
 ①絵手紙の展示を觀賞しながらひんペインティング作品展示 (佐井 プラリー) ③百人一首の展示 (人



南丹ものづ 南丹文化ジョイ

10月30日、31日の2日間、国民文化市立文化博物館、国際交流会館などで「南募した木工芸、陶芸の作品の表彰や加工食品作品展示などを行いました。

また、同日開催として「～美と和で輪ぶ^{むす}幼児からプロの工芸家まで、さまざまな作



⑲国民文化祭・京都2011 PR隊長「まゆまる」

⑳南丹市文化協会連絡協議会の作品展示
 ㉑地域で活躍される工芸作家の作品展示



南丹食の祭典加工食品コンテストの入賞者・加
 ☆最優秀賞 まちなかを再発見する会女性部 (左上)
 『園部本陣ちまぎ』

※『園部本陣ちまぎ』には、南丹市の推奨商品ラベル(上)を貼ってPRしていただきます。

☆アイデア賞 大向営農組合加工部 (右上)
 『丹波の実りケーキ』

☆アイデア賞 ブルーベリー美山 (右下)
 『ブルーベリージャム』



を公表します

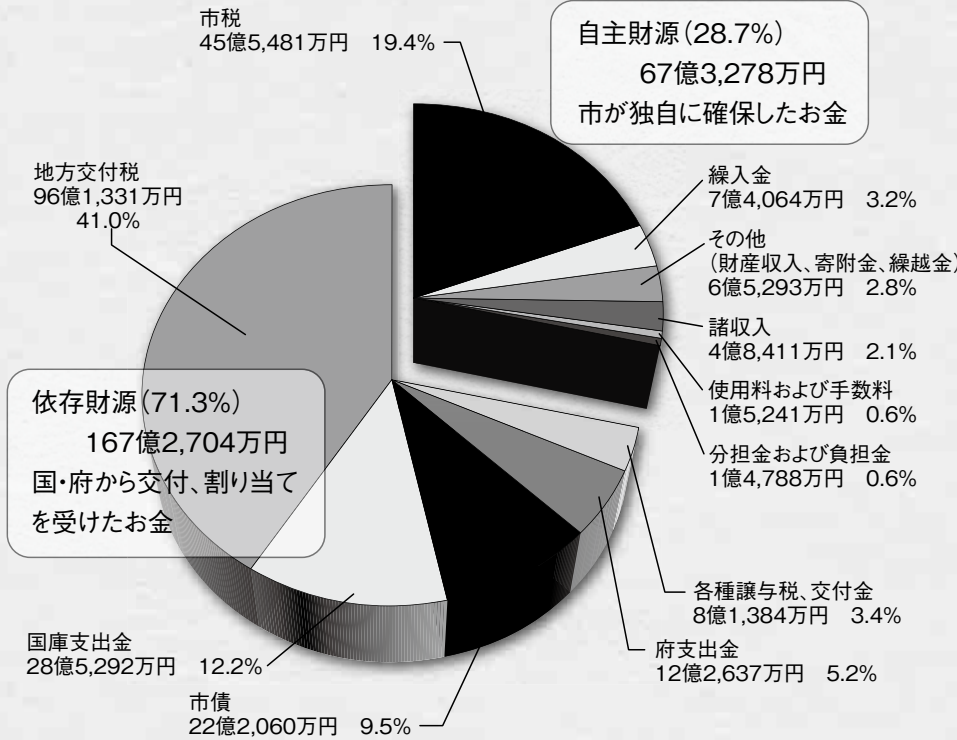
皆さんの税金がどのように使われ、市の財政がどのような状況にあるか知っていただくため年2回財政状況を公表しています。

今回は平成21年度（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の決算状況と平成22年度上半期（平成22年4月1日から9月30日まで）の予算執行状況をお知らせします。

平成21年度 決算

※単位未満四捨五入

一般会計 歳入
234億5,982万円



○一般会計の決算
平成21年度の一般会計決算は、歳入総額234億5,982万円、歳出総額227億6,829万円となりました。歳入歳出差引残高は6億9,153万円がこのうち翌年度へ繰り越す事業の財源

2億7,383万円を差し引いた実質収支額は、4億1,770万円の黒字決算となりました。南丹市では、今後も事務事業の見直しを積極的に行い、長期的に安定した健全な財政運営を目指します。

健全化判断比率	指標	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
	平成21年度	-	-	20.4%	185.4%
	早期健全化基準	12.81%	17.81%	25.0%	350.0%
	財政再生基準	20.00%	40.00%	35.0%	

※赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「-」としています。

資金不足比率	特別会計の名称	資金不足比率	経営健全化基準
	南丹市上水道事業会計	-	20.00%
	南丹市簡易水道事業特別会計	-	
	南丹市下水道事業特別会計	-	

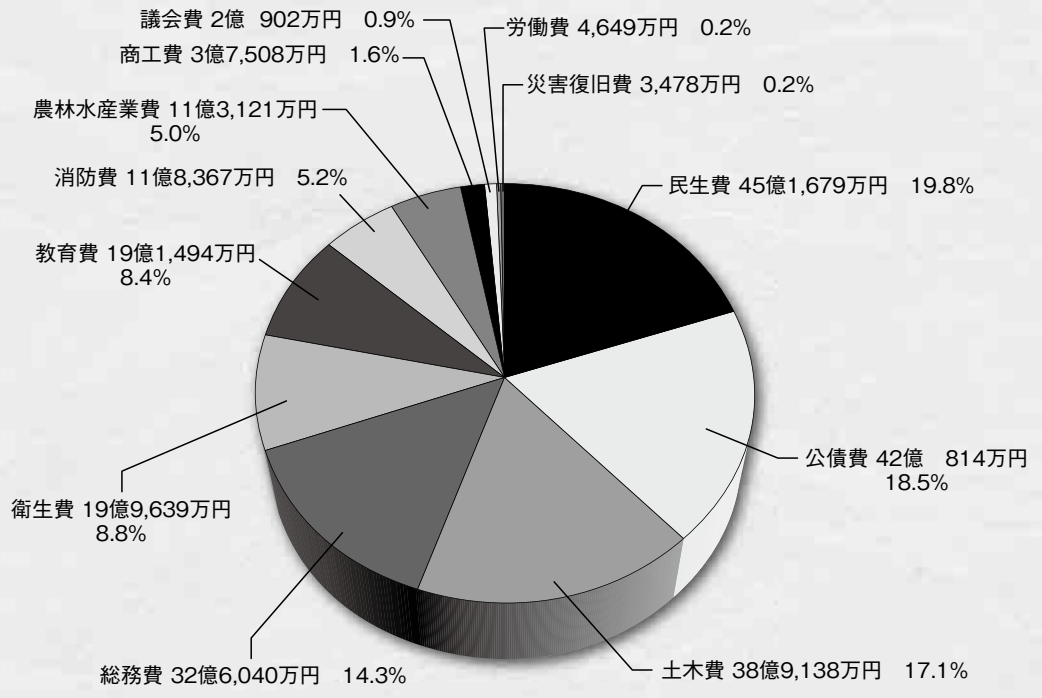
※資金不足額がないため、資金不足比率は「-」としています。

「財政の健全化判断比率等」
地方公共団体の財政の健全化に関する法律の規定により、地方公共団体は毎年度、決算に基づいて健全化判断比率などを算定し、監査委員の審査に付した上で、その意見を付けて議会に報告するとともに、市民の皆さんに公表することとされています。

財政状況



一般会計 歳出
227億6,829万円



○特別会計の決算
特別会計とは、特定の事業を行うために一般会計と分けている会計のことです。国などの補助もありませんが、その経費は受益者（サービスを利用する方）が負担するのが原則です。
南丹市には8つの特別会計があ

○企業会計の決算
企業会計とは、市が直営する企業の会計のことです。経営できる企業は、公共の利益を目的とするもので、特別に定められたものだけ

りそれぞれの平成21年度の決算状況は右下表のとおりです。
南丹市は水道事業を企業会計としており収益的収支では、2,957万円の純利益（黒字）を計上することができました。
資本的収支では、1億8,895万円の収入不足が生じましたが、留保資金などで補てんしました。

特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	36億9,472万円	36億2,695万円	6,777万円
老人保健事業	5,475万円	3,271万円	2,204万円
介護保険事業	29億6,147万円	29億527万円	5,620万円
市営バス運行事業	4,994万円	4,603万円	391万円
簡易水道事業	7億4,629万円	7億2,782万円	1,847万円
下水道事業	29億2,417万円	28億2,119万円	1億298万円
土地取得事業	3億4,525万円	3億4,525万円	0万円
後期高齢者医療事業	4億1,905万円	4億1,129万円	776万円

企業会計

会計名	歳入	歳出	差引	
上水道事業	収益的	4億4,205万円	4億1,248万円	2,957万円
	資本的	8,643万円	2億7,538万円	▲1億8,895万円

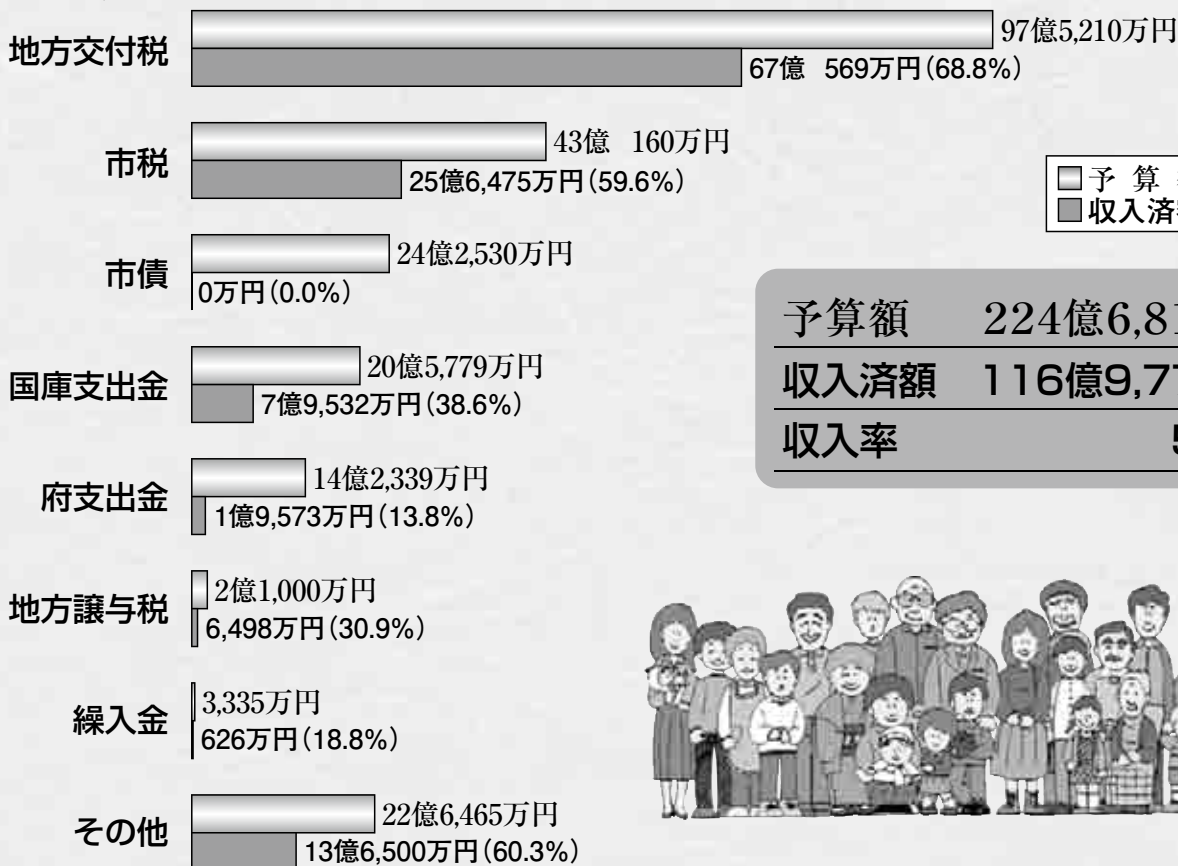
平成22年度予算

上半期歳入・歳出執行状況

※繰越予算含む、単位未満四捨五入

歳入

一般会計 予算執行状況



□ 予算額
■ 収入済額 (収入率)

予算額	224億6,818万円
収入済額	116億9,773万円
収入率	52.1%



市の借入金 (市債)

小・中学校の校舎のように将来まで役立つ施設の建設費などを、次世代の人々にも負担していただくという考えに基づき、借り入れるものです。

借入現在高 599億5,774万円

一般会計	299億5,782万円
特別会計	281億9,931万円
企業会計	18億 61万円

市民1人当たりの借入金 173万円

うち地方交付税で補てんされる分 (見込み) は約318億円 (53.2%) で実質市民1人当たりの借入金は81万円となります。

市民1人当たりに使われる市のお金

65万円

市民1人当たりが負担する税金(市税)

12万円

1世帯当たりに使われる市のお金

165万円

1世帯当たりが負担する税金(市税)

32万円

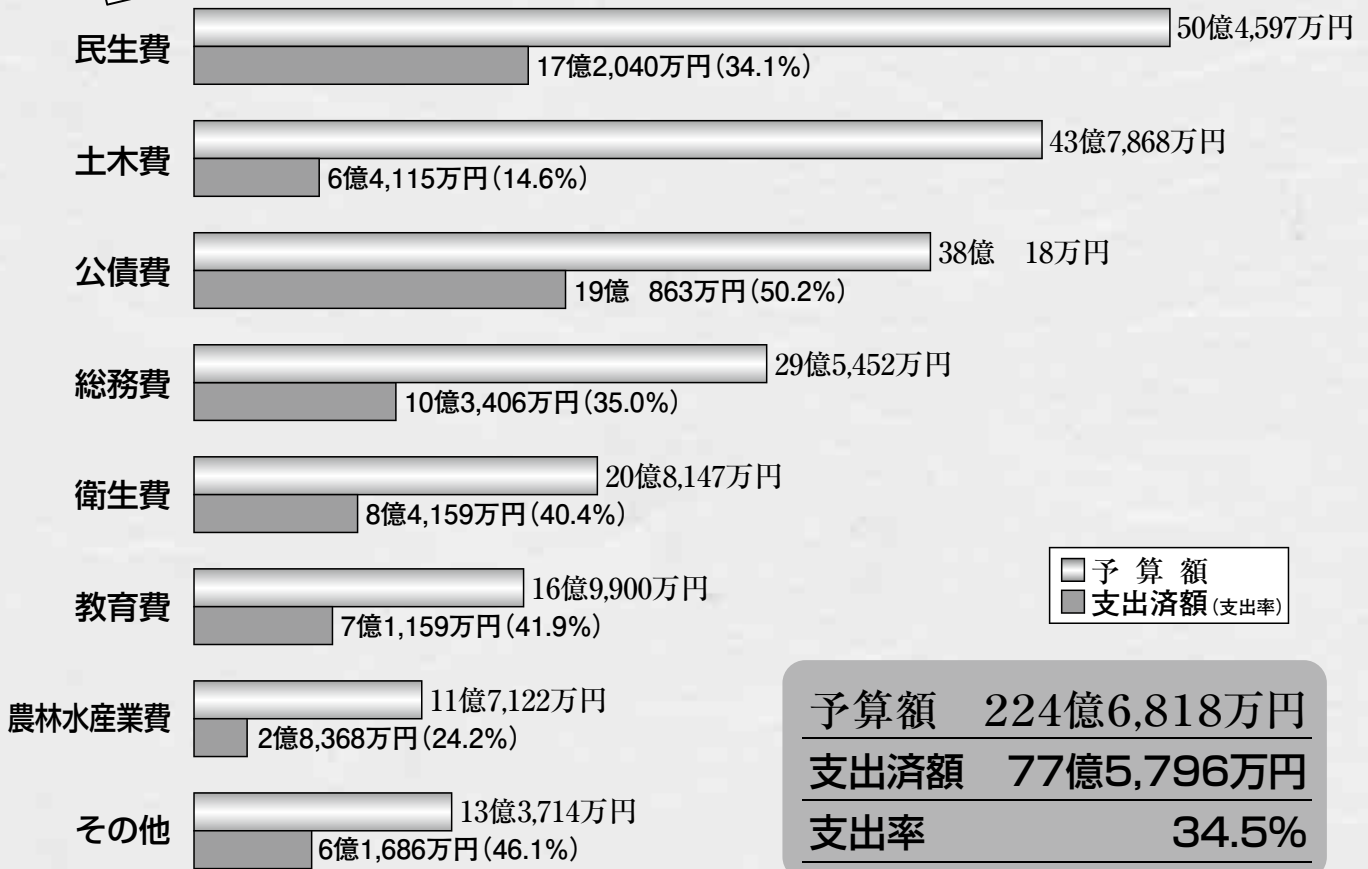
◆算出方法◆

市民(世帯)に使われるお金=総予算÷人口または世帯数
市民(世帯)が負担する税金=市税予算÷人口または世帯数

※人口 34,659人 世帯数 13,620世帯
(平成22年9月30日現在)

歳出

一般会計 予算執行状況



特別会計 予算執行状況

会計名	予算額	収入済額	収入率	支出済額	支出率
国民健康保険事業	34億8,954万円	11億4,911万円	32.9%	14億3,777万円	41.2%
老人保健事業	2,919万円	2,215万円	75.9%	1万円	0.0%
介護保険事業	30億4,406万円	11億4,860万円	37.7%	12億3,438万円	40.6%
市営バス運行事業	4,570万円	1,360万円	29.8%	2,001万円	43.8%
簡易水道事業	7億6,031万円	2億 353万円	26.8%	2億3,399万円	30.8%
下水道事業	29億5,653万円	3億9,283万円	13.3%	11億5,788万円	39.2%
土地取得事業	1億3,740万円	5,069万円	36.9%	5,016万円	36.5%
後期高齢者医療事業	4億3,146万円	1億3,386万円	31.0%	1億3,983万円	32.4%

企業会計 予算執行状況

■上水道事業

区分	収入予算額	収入済額	収入率	支出予算額	支出済額	支出率
収益的	4億3,129万円	2億1,785万円	50.5%	4億2,068万円	6,774万円	16.1%
資本的	9,100万円	627万円	6.9%	3億3,775万円	4,938万円	14.6%

財政課
 0771-680018
 【お問い合わせ先】



地域の相談役 民生児童委員を紹介します

平成22年12月1日付けの民生委員・児童委員の一斉改選により、新たに就任された民生児童委員の皆さんを紹介いたします。

民生児童委員は、地域において援助を必要とする生活にお困りの方、ひとり暮らし高齢者、母子・父子家庭、障がいのある方などの福祉に関する相談・支援を行うとともに、高齢者や子どもの見守り活動や児童の健全育成のための活動を行っています。また、主任児童委員は、児童福祉に関する相談を専門的に担当しています。

ご相談のある方は、お近くの民生児童委員までお願いいたします。

平成22年度南丹市民生委員・児童委員退任式、就任式

12月3日、市役所日吉支所で南丹市民生委員・児童委員退任式および就任式を挙行しました。中川晃前南丹市民生児童委員協議会会長をはじめ、長きにわたり福祉行政の推進にご尽力いただいた57人の方々が退任。新たに119人の皆さんに厚生労働大臣からの委嘱状を交付しました。委員の任期は3年で、研修を重ねながら、地域の皆さんの相談役として活躍されます。



▶土家南丹広域振興局副局長から感謝状を受け取る中川晃さん(右)

南丹市民生児童委員の皆さん(敬称略)

※()内は担当地区です。
※主任児童委員は各町全域を担当します。

〔園部町地域〕

《民生児童委員》

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 中尾 敬子 (宮町) | 谷口 裕子 (越方・佐切) |
| 秋田 良子 (上本町) | 西垣 恵子 (竹井) |
| 竹内 恭子 (本町) | 小寺 孝子 (仁江) |
| 森本 安夫 (若松町) | 潮田 正美 (船阪) |
| 貫井 勤 (新町) | 平田 一美 (大西) |
| 中村 吉郎 (小山東町) | 角 富美江 (六人) |
| 小島 嘉夫 (向河原府宮団地) | 畑中 ます江 (半田) |
| 野口 義雄 (向河原市宮団地) | 西田 敏雄 (口人・口司) |
| 村上 昇 (小山西町) | 平田 登代子 (植生) |
| 大坪 洋子 (小山西町) | 下間 利夫 (南八田) |
| 西山 美江 (栄町) | 清水 浩 (天引) |
| 梅木 寧輔 (美園町) | 野々口 善文 (法京・大河内) |
| 今井 恵一 (小桜町) | 中井 良子 (殿谷・若森・南大谷) |
| 田中 彰 (城南町) | 《主任児童委員》 |
| 樋口 和満 (横田) | 大嶋 久美子・西村 逸子・ |
| 森 知子 (横田) | 岩田 政子 |
| 森 政美 (黒田) | |
| 森 壽 (上木崎町) | 〔八木町地域〕 |
| 藤田 文代 (河原町) | 《民生児童委員》 |
| 木村 明美 (木崎町) | 中川 京子 (本町1丁目) |
| 前田 義明 (木崎町) | 八木 貞子 (本町2・3・4丁目) |
| 崎山 豊 (千妻・内林町・曾我谷) | 片山 幹雄 (本町5・6丁目) |
| 杉本 定光 (瓜生野・熊崎・新堂) | 湊 正治 (栄町1・3丁目) |
| 内藤 政男 (船岡) | 加茂 八洲雄 (栄町2丁目) |
| 片山 勝彦 (高屋・大戸・熊原) | 一瀬 信之 (栄町2丁目・垣内・柴山) |
| | 平田 裕子 (本郷東・西・南・北) |
| | 高屋 増子 (西田・井ノ尻) |

川勝 信子 (屋賀・観音寺)
川勝 潮子 (屋賀上・青戸)

村上 不二子 (北屋賀)
國府 秀雄 (北屋賀)

中川 純子 (氷所)
馬淵 政子 (日置)

芦田 美子 (刑部・北広瀬)
下司 文一 (鳥羽・玉ノ井)

湯浅 幹男 (美里)
今西 豊子 (室河原・木原・池ノ内)

廣瀬 洋子 (八木嶋)
平松 シゲ子 (南広瀬・大藪・折戸)

西村 信子 (船枝)
松本 則子 (山室)

三觜 晴子 (室橋)
明田 和子 (諸畑)

麻田 悦子 (池上・野条)
中西 孝久 (神吉上)

大槻 昌伸 (神吉上)
徳見 晃 (神吉下・和田)

《主任児童委員》

中川 能季・八木 節子

《民生児童委員》

吉田 正彦 (殿田上)
井尻 和夫 (殿田下)

丸山 敏夫 (木住)
鍋田 和夫 (生畑)

近藤 正也 (中世木)
谷口 明美 (東胡麻)

坪之内 好野 (新町・後野・日吉平)

船越 重雄

太田 雅晴 (西胡麻駅前・胡麻荘園・栄ヶ丘)

木戸 ウメノ (中野辺・中村・角本・イングラント)

四方 博 (上胡麻)
小島 博 (広野)

塩貝 しげ子 (上保野田)
塩貝 福美 (下保野田)

船越 充子 (志和賀)
宮田 洋二 (上佐々江)

土井 保江 (中・下佐々江)
加地 一郎 (東組・海老谷)

北井 嘉辰 (中組・吉野辺)
勝又 修一 (殿)

小林 妙子 (和田・新シ)
藤井 博幸 (片野・片野住宅・ヴェルビユー・田原駅前)

《主任児童委員》

栗田 千八栄・小南 久仁子

《美山町地域》

片山 眞智子 (南・北)
長田 憲一 (中・河内谷)

上野 清美 (下・知見)
大野 美代子 (江和・田歌)

林 英夫 (菅生・白石・佐々里)
桂 ひさ子 (又林・下平屋)

中村 澤三 (上平屋・安掛)
菅井 正巳 (野添・長尾・深見)

中西 里子 (荒倉・大内・内久保)

植林 央子 (原・板橋・宮脇)

南 清 (下吉田・島)
竹内 博 (長谷・上司)

樋口 三千男 (和泉)
山崎 豊子 (静原)

中西 みさ枝 (今宮・栃原・砂木・棚)
大森 正 (川合・殿・田土・上吉田・林)

下田 満代 (舟津・松尾・神谷・名島・洞)

田中 幹生 (庄田・脇・熊壁・山森)

小寺 俊彦 (菅野・大野)

小崎 フサエ (川谷・岩江戸)

藤原 陽子 (脇谷・小淵・音海)
梅津 多佳子 (向山・榎原)

《主任児童委員》

大東 由宇子・藤原 久代

● 退任された民生児童委員・主任児童委員 (敬称略) (平成22年11月30日付)

《園部町地域》

吉田 儀正・人見 雅子・小寺 千ヨハ・西田 修身・岡本 みさ子・進士 収・五島 千津子・井尻 喜美子・石橋 茂一・山本 雅子・藤木 栄子・高屋 みち子・林 正子・高杉 千津子・今西 保子・楠川 進・谷 佳代子・片山 正信

野々口 きめ系

(主任児童委員) 三村 隆夫

《八木町地域》

中川 晃・國府 清美・廣瀬 光子・谷口 早苗・浅田 祀子・澤田 道子・松本 浩子・原 次久・秋田 弘子・廣瀬 洋子・廣瀬 ふき子・山本 澄枝・中嶋 よし江・麻田 榮子

《日吉町地域》

小島 ちよ子・井尻 正美・吉田 光代・谷川 みゆき・山内 一美・堂前 佐登子・林 とよ子・西村 隆雄

(主任児童委員) 勝田 淑子

《美山町地域》

登尾 久嗣・高野 長司・栢下 壽・中野 愛子・大牧 貞子・川勝 仁司・藤井 加鶴子・名古 清・市原 重忠・上田 孝子・梅津 義明・梅津 悦子

(主任児童委員) 坂本 二三恵・中野 忠樹

☆ 民生児童委員に関するお問い合わせ

社会福祉課 Tel 0771-68-0007

行政 トピックス



こんな時どうすればいい？
くらしに役立つ便利帳発行

「南丹市くらしの便利帳」
共同発行に係る協定書調印式

「南丹市くらしの便利帳」を株式会社サイネックスと共同発行するにあたり、11月17日、市役所で協定書の調印式を行いました。

くらしの便利帳は、市の概要や歴史などの地域情報や市役所各課の業務、各種手続き・制度の案内などをまとめた冊子で、市内の事業所などの広告を掲載し、その広告収入で発行費用を賄います。市民サービスの向上と地域経済の活性化を図ることを目的に、冊子を5月に全世帯に配付し、その後は転入者にも配付します。村田吉優代表取締役社長は「全国のおよそ200市町村で便利帳を発行した経験を生かし、市民の皆さんに喜んでいただけるような冊子を作ります」とあいさつされました。



▲協定書を手にする村田社長（左）と佐々木市長

お店のPRに 広告掲載しませんか！

この便利帳に掲載する広告を募るため、2月から3月にかけて株式会社サイネックスが市内の事業所や店舗を訪問します。広告掲載について、ご理解とご協力をお願いします。

◇ 広告掲載の申し込み

(株)サイネックス京都支店

TEL 075-315-0085

◇ 問い合わせ先

情報推進課

TEL 0771-68-0019

市民の生の声を市政に反映

—平成22年度市政懇談会—

市民の皆さんのまちづくりに対する思いや考えを直接聞き、市民ニーズにあったまちづくりを進めていくことを目的に、11月8日から26日まで、12会場で懇談会を開催。前回のアンケート結果を基に、今回は土曜日・日曜日にも開催し、403人の方々に参加いただきました。野生鳥獣被害、高齢者の交通対策、市道・橋りょう改修、中学校給食の実施など、さまざまなご意見、ご提案をいただきました。なお、次号広報なんたんで、質疑回答の一部を掲載します。



▲質問に答える佐々木市長（美山農業振興センター）

3年間の外部評価を総括

—南丹市行政評価推進委員会
報告書を提出—



▲佐々木市長に報告書を手渡す四方委員長（左）

11月8日、市行政評価推進委員会の四方宏治委員長が佐々木市長に外部評価の結果を報告されました。これは総合振興計画に定める23施策412事業を3カ年にわたって、公認会計士、大学准教授など5人の外部委員で組織する委員会で審議、評価いただき、改善すべき内容などを報告書にまとめ、市長に提言されたものです。内容は市HPからご覧いただけます。

(<http://www.city.nantan.kyoto.jp/gyokaku/hyoukaku.html>)

仲間の輪を広げ健康づくり

— 全国老人クラブ大会表彰 —

全国老人クラブ連合会老人クラブ育成功労表彰を受賞された谷口昭夫さんと同優良老人クラブ表彰を受賞された若栄会会長福嶋晃さんが11月26日、佐々木市長に受賞の報告をされました。谷口さんは八木町老連の会長として6年間活躍。合併後は南丹市老連設立に向け尽力され、初代会長を務められました。若栄会はカラオケやスポーツを通して仲間づくりを推進される一方、長年八木駅前の花壇の手入れや駅周辺の除草など環境整備に努められています。



▲佐々木市長に受賞報告
(左から池田瞭市老連副会長、福嶋さん、谷口さん)

消防団の円滑な活動に向け

— 南丹市消防委員会答申 —

市消防団組織再編について、11月16日、村田正夫消防委員会会長から答申書が提出されました。市消防団組織再編計画は、消防団の活性化と組織の充実強化を図るため、団員定数を現状に合わせることや団組織のスリム化を行うことなどを定めており、委員会で計画内容について議論されました。村田会長は、「団員確保の取り組みなど団活動がスムーズに行えるよう、地域と行政のバックアップが不可欠。今後も継続して審議していく」と話されました。



▲消防団の再編について意見を交わす村田会長(中)、小林副会長(左)と佐々木市長

みんなの駅きれいに便利に

— 園部駅西口広場改修など —

歩道一面を天然石風透水性ブロックで整備する改修工事が12月3日完了しました。この工事に併せて、京都伝統工芸大学から卒業生の石工芸作品の展示申し出があり、カエルや女神など4点の作品がバス停付近に設置され、駅利用者の注目を集めています。また、11月19日には、JR園部駅西口環境維持協議会活動として初めての清掃を実施。高校生や学生、事業所の社員など218人が参加し、落ち葉の清掃や道路脇にたまった泥の除去が行われました。



▲駅前の清掃作業を行う学生たち

暮らしやすいまちの実現へ

— 南丹市住生活基本計画 —
策定委員会 —

11月15日、市役所で南丹市住生活基本計画策定委員会を開催し、市民代表と府・市職員から選出した15人の委員が出席。委員長に廣瀬孝人氏、副委員長に中川幸雄氏を選出しました。住生活基本計画は、総合振興計画の下位に位置する住宅部門のマスタープランで、市街地、中山間地で異なる課題の解決や市営住宅の適切な維持管理など、市の住宅政策の方向性や具体的な取組内容を明確にするため、今年度末までに策定します。



▲計画の策定に向け議論する委員ら

南丹市の古い写真を探しています 戦争に関する資料を探しています

南丹市は市制5周年を迎えました。南丹市立文化博物館・南丹市日吉町郷土資料館では、平成23年度春季特別展として「写真でふりかえる南丹市」の開催を予定しています。本展示会では、市域の様子を写真で紹介し、市民をはじめ多くの方に南丹市の歩みをお伝えできればと思い企画しました。博物館・資料館では、昭和初期から50年代までの南丹市の街並みや人々の暮らしぶりがうかがえるような写真を探しています。「こんなもの…」と思ったものが、地域の昔を伝える貴重な資料であるかもしれません。何気ないスナップ写真の1コマが時代を写していることがあります。地域の歴史や文化を残して、次の世代に伝えていくため、皆様のご協力をお願いします。

～ こんな古い写真を探しています ～

変ぼうする風景・街並み
(建物・道路・河川など)



人々の暮らし（農業・林業など）



災害（水害・火災など）



戦争関係
(戦時中の暮らしなど)



交通（列車・駅舎・バス・橋りょうなど）



祭礼・年中行事



学び（学校）



イベント（国体・のど自慢など）



※お借りした写真は、複写し、原則3週間以内にお返しします。会場スペースの都合上、すべての写真を展示できない場合がありますのでご了承ください。展示会では複写した写真を使用します。複写した写真は、当館で資料として保存し、今後の調査などに使用します。

※主に昭和初期から50年代の写真の展示を予定しています。展示会では撮影時期・撮影場所を記載しますので、いつごろどこで撮影されたものか特定できるものをお願いします。撮影時期は「〇〇年ごろ、〇〇年代前半、〇〇年代」のように大まかなものでもかまいません。

※今後の展示会開催に伴い、戦争に関する資料も併せて探しています。下記連絡・問い合わせ先までご連絡ください。

◇連絡・問い合わせ先 南丹市立文化博物館 TEL0771-68-0081

みんなで描こう 協働のキャンバス



皆さんこんにちは、協働推進係です。このコーナーは市民協働・市民参加に関するさまざまな情報を市民の皆さんにお届けします。今回は前にも少しふれたさまざまな活動に対する支援制度を詳しくご紹介します。



活用できる制度（その1）

南丹市市民提案型まちづくり活動支援交付金

地域や市域全体で社会問題になっていることについて、行政区、市民団体やNPOなどに話し合っただくとともに、課題解決に向けた事業を提案・実施いただき、それを支援する制度です。協働で事業を展開するためには、ほとんどの場合「人」と「資金」は必要になってきます。課題解決に向けたアイデアの提供と人のかかわりを市民の皆さんに分担いただき、資金の調達や広報活動などを行政が分担する市民協働の役割分担を基本としています。

現在のところ皆さんに活用いただけるメニューは次の2つです。

自由提案型：市民の皆さんに地域などの課題を提起いただき、それに対する解決方法の提案・実施をいただくもので、補助率は10/10。上限は10万円までです。

課題設定型：行政が課題を設定し、その課題に対する解決方法を提案・実施をいただくもので、補助率は10/10。上限は20万円までです。

たとえば平成22年度にはこんな事業が実施されています。

自由提案型

都市化された地域で、コミュニケーションの再生と認知症を予防するプログラムを推進する事業や、サイクリングのメッカともなっている美山で各拠点にステーションを設置し、メンテナンスを助け、温かく人々を迎える仕組みを作る事業など3事業

課題設定型

行政が道路などを美しく維持するための仕組みについて課題を設定したところ、園部駅西口の美化環境維持などについて、利用者が協議会を設立し、美化活動を実施する事業や、沿道に水仙を植え、美化活動とともに人を温かく迎える仕組みを考える事業など9事業



こんなメリットがあります

本制度を活用して事業を推進した場合、市民や行政がそれぞれに役割分担をしながら事業を推進することになるため、それぞれの利点を生かしやすく、情報交換や情報発信などがスムーズに行えます。

また、概算払いの制度などを活用すると活動資金を事前に受け取ることができ、事前の準備がスムーズに行うことができます。

さまざまな団体で地域などの課題を話し合い、その解決法を検討し、制度を活用して住みよい地域づくりに取り組んでみませんか。平成22年度の募集は終了しましたが、来年度の制度の実施についても、活用いただきやすい制度とするため現在準備を進めていますので、皆さんもぜひこの制度をご活用ください。次回は京都府地域力再生プロジェクトについて紹介します。

お問い合わせ、ご相談は 企画推進課 TEL0771-68-0003 Fax0771-63-0653
E-mail kikaku-s@city.nantan.kyoto.jp

いっき いっき 南丹

-41-

お元気ですか？
保健師です。



冬の健康管理

〜5つのポイントに気を付けましょう〜

寒さが厳しくなってきましたが、皆さん体調を崩されていませんか？

この寒さは、今しばらく続きます。冬と上手に付き合うために、今一度、冬の健康管理のポイントをおさらいしましょう。

《5つの健康管理のポイント》

①室内の湿度は50%〜60%

暖房器具の使用で、冬の室内は乾燥しがち。ウイルスは乾燥した場所を好みます。インフルエンザウイルスは、湿度50%の場合は、10時間で死滅しますが、35%以下では、1日たっても生存しています。

加湿器や濡れタオルを室内に干すなど、工夫して室内の湿度を保ちましょう。

また、閉め切った室内では、空気

が汚れがちです。定期的に窓を開けて換気しましょう。



②衣類は空気を含ませて

厚手のものを一枚着るよりも、薄手の衣類を重ね着するほうが、空気を含まれて温かく感じます。

また、首・袖・足元など開口部をしっかりふさぐことで保温効果が高まります。手袋・マフラー・レッグウォーマーを上手に活用してください。



③手洗い・うがいの徹底

外から帰ってきたら、手洗い・うがいを忘れずに行ってください。カゼ予防の基本です。



④お互い様の「せきエチケット」

マスクをせずにせきやくしゃみをする時、ウイルスが2メートルから3メートル飛ぶといわれています。ご存じでしたか？改めて数字でみると驚きですね。せき・くしゃみの際にはティッシュなどでは口と鼻を押さえ、周りから顔をそむけましょう。



⑤十分な睡眠をとりましょう

体が疲れていると、免疫力が低下しカゼなど感染症にかかりやすくなります。バランスの良い食事と休養をとり体調を整えてください。



《カゼにかかってしまったら》

●早めに医療機関を受診し適切な治療を受けることをお勧めします。

●安静にして、しっかり休養をとってください。特に睡眠を十分にとることが大切です。

●水分をしっかりととりましょう。お茶など飲み物のほかに、食事が進まない場合は、スープなども食べやすいです。



最後にインフルエンザと普通のカゼを比較してみます。

★インフルエンザと普通のカゼの比較

	主な症状	発熱
カゼ (普通感冒)	のどの痛み、鼻水、くしゃみ、せき	ない。 もしくは微熱
インフルエンザ	上記のカゼ症状と頭痛、筋肉痛、倦怠感などの全身症状	38℃~40℃ の発熱

冬場は寒さのため血圧も高めになりがちです。自己判断で服薬をやめたりせずに、必ず主治医にご相談ください。

「人権月間の取り組みから」



「皆」

さんは、友達を大切にしていますか？」

6月、児童会本部の児童がステージから呼び掛けました。自分たちの学校を振り返って、全校児童の前でパネルディスカッションを行うことから、八木小学校の人権月間の取り組みがスタートしました。パネルディスカッションでは、友達を大切にしたいと感じる様子や、みんなに気を付けてほしい行動を、パネラーの高学年児童が述べ合いました。

高学年の力強い呼び掛けを受け、全校で映画『しらんぷり』を見て考え合ったり、意見発表に取り組んだりと、月間中は人権について集中的に考える期間となりました。

2 学期には、人権擁護委員さんが自作の紙芝居『にじいろのさかな』を持って来校されました。

「一人ぼっちになったにじ魚（主人公）の気持ち分かるかな？」「仲間外れをしていたときはどうだろう？」お話をしながら子どもたちの考えを聞きました。子どもたちが自分の経験と合わせて考え発表する姿から、人生経験豊かな委員さんの口から語られる言葉が、子どもたちの心に届いた

様子が感じられました。

よ り良く過ごしたいという願いは、誰もが持っているものです。しかし、子どもたちだけでは、なかなか具体的な課題が浮かび上がりにません。大人の目から見れば、「こうあってほしい」「ここに気を付ければ、より良く過ごせるだろう」という課題はたくさん見えます。しかし、人権認識には子どもたち自身が考え、いろいろな機会をとらえて人々の生き方に触れ、感じていくことも必要だと考えます。

これからもさまざまな機会をとらえ、人としての生き方や人権の視点で考えることを大切にし、人権認識が深まっていく取り組みを創造していきたいと思えます。

（八木小学校 人権教育主任 石丸 晃久）



▲紙芝居を觀賞し、人権について考える児童たち



地球温暖化を防止し環境にやさしい暖房器具として注目されているペレットストーブ

がこの冬、市役所や小学校にお目見えしました。（写真・宮島ランチルーム）



伐材や木くずなどを利用しています。ペレットが普及すると、森林の手入れが進み、荒廃した森を助けることができます。また、燃焼時に発生する二酸化炭素は、樹木が成長する時に吸収した二酸化炭素が空気中に戻るだけなので、増えません。植林をすれば、樹木は再び大気中の二酸化炭素を吸収しながら成長し、燃料として活用できる資源となります。

今回のエコロジスト

竹村望さん

（宮島小6年）



ペレットストーブを見たのは初めてです。

見た目がとてもきれいだし、環境のことを考えると良い取り組みだなと思います。

小関芽衣さん

（宮島小6年）



ペレットストーブは普通のストーブより

暖かくておしやれだと思えます。石油は限りがあるけど、山の木は成長するので、燃料に木材を使うことは山が荒れなために大切だと思います。

ペレットストーブ設置場所

市役所本庁・日吉支所・八木小学校・宮島小学校

ストーブ設置工事は給排気管の設置のみの簡易工事です。

臭いや煙は屋外に排気され室内にはこもりません。ご家庭で設置を検討されているなど、興味のある方はぜひ見学してください。（環境課）

南丹市立図書館

中央図書館 TEL (0771) 68-0080
八木図書室・日吉図書室・美山図書室
(休館日: 毎週月曜日・祝日)

<http://library.intra.city.nantan.kyoto.jp/>

図書館へようこそ!

No.26



イメージキャラクター「なびっと」

図書館の出前講座を「存じ」ですか

素敵な本との出会いをサポートします

図書館では、職員が図書館を飛び出してさまざまな出前講座を行っています。

小学生や中学生を対象にした絵本の読み聞かせやブックトークはもちろんのこと、参観日などの機会を活用して、保護者や祖父母、地域の方々に「読書することの楽しみ」を知っていただく機会を設けています。

子どもたちが多くの本と出会って健やかに成長してくれることと同様に、大人がもっと多くの本と出会って、生涯学習のための支援を行っています。

今年も皆さんに、一冊でも多くの本が届けられる一年となりますように…

新刊紹介



『ぼくの図書館カード』
絵… グレゴリー・クリステイ
文… ウィリアム・ミラー
発行… 新日本出版社

図書館を利用できない黒人の子どもたちを主人公に、本を読む楽しさや図書館の魅力について描いた絵本。



『35歳からの金のおリアル』
著… 人生戦略会議
発行… W E V E 出版

40歳、50歳を笑って迎えるために、たくましく、しっかりと生き抜く思考法と選択肢を提案する渾身の書。

暮らしと

ホッと

—第11回—
消費生活情報

送りつけ商法にご用心!

注文していないのに商品と振込用紙が送られてきたり、代金引換宅配便で商品が送りつけられたりという被害相談が消費者センターに寄せられています。

消費者の「承諾」の意思表示がなければ契約は成立しませんから、この状態では消費者には代金の支払義務は生じません。

消費者へのアドバイス

①注文や申し込みをしていない場合、代金の支払義務はありません。

②商品の所有権は販売業者にあります。商品が送付された日から14日間または業者に商品の引き取りを請求した日から7日間のいずれか早い方が経過した場合は、販売業者は引き取り請求権を失うため、期間経過後は自由に商品処分することが出来ます。

③代金引換宅配便で送られた場合、販売業者が分からないことが多いため、いったん支払うと代金を取り戻すことが困難です。心当たりの無い商品の受け取りは断りましょう。

④指定商品制ではなく、すべての商品が対象です。

⑤トラブルにあった場合は、すぐに消費者センターに相談しましょう。

「消費者ホットライン」

TEL 0570-064-370

(商工観光課)

このように業者が一方的に商品を送りつけてくる商法は「ネガティブ・オプショヨン」「送りつけ商法」と呼ばれています。業者からの商品送付は売買契約の「申し込み」にあたりませんが、



社協で地域福祉を担当する皆さん

自分のできることで楽しみながらボランティアに参加しませんか？

社会福祉協議会では、ボランティアと活動場所などをコーディネートしています。人は誰でも、やさしい思いやりの心を持っています。それを、まわりの人と分かち合うこと。それがボランティア活動です。

「ちょっとやってみようかな」という興味と、「私も何か力になりたい」という気持ちさえあれば、活動を始められます。ボランティア活動には、何事にも代えがたい喜びや出会いがあります。ボランティア活動は、潤いのある市民生活を築く上で大切なことです。地域の連帯の輪（和）が広がり、助け合い、励まし合い、喜び合える、心豊かな南丹市にしましょう。

もちろんボランティア活動を受けたい方も連絡してください。良い出会いにつながるよう社会福祉協議会がお手伝いします。

ボランティアの窓口はこちら

南丹市社会福祉協議会
地域福祉部（社協八木支所内）
TEL：0771-43-0551
園部支所 TEL：0771-62-4125
八木支所 TEL：0771-42-5480
日吉支所 TEL：0771-72-0947
美山支所 TEL：0771-75-0020



自然体の活動が生きがいに ～八木理容・美容ボランティア～

八木デイサービスセンターの利用者に好評なのが、個人ボランティアで利用者の髪をカットする林末子さん、森田正子さん、谷口八重子さんの活動。平成15年9月から同センターで月に2回、約10人のカットを行われています。

林さんは以前に美容院を経営。社会福祉協議会の福祉委員をしたとき、デイスサービスでの理容ボランティアを頼まれ、カラオケ仲間だった2人に声を掛け活動をスタートさせました。活動日を調整する森田さんは「3カ月に1回程度カットできるように活動日を決めていきます」とスケジュールもバッチリ。林さんは「お店のお客さんだった方もおられ懐かしい。楽し



▲笑顔があふれる雰囲気でも身も心もスッキリ

くお喋りし、パワーをもらっています」と技術を生かした活動で若返っておられるよう。移動は谷口さんの運転で、役割が自然に決まったそうです。利用者は「髪を切ると気持ちシャキッとすする」「美容

院に行くのは大変なのでうれしい」と3人が来られる日を楽しみにされています。8月からは活動を月1回に変更。無理なく活動を続けるために決断されたそうです。皆さんは「体が元気なうちは続けていきたい。個人ボランティアは、自分のペースで気楽に活動できるのが強み。義務的に活動すると利用者にも分かるし、有料になると仕事になるので、お互いに不満が生まれると思う。ボランティアの良さは『お金』では計れません」とプロ意識は顕在です。

ボランティアという生きがいに出会い、自然体で活動する皆さんの笑顔は生き生きと輝いています。

第11回目となる美山かやぶきの里ワンデーマーチが開催され、およそ600人が参加しました。コースは、美しい日本の歩きたくなる道500選選定コース（18*、北かやぶきの里コース）とファミリー向けの全国遊歩100選選定コース（12*、虹の湖コース）。各地の歩こう会で参加の団体の方々や老夫婦、親子連れなどがそれぞれのペースで、美しい農村の風景が広がる美山をウォーキングしました。3年ぶりに参加されたご夫婦は「やっぱり美山は空気おいしい。ゆっくりと歩いているだけですごリラックスできる」と元気に歩いて行かれました。



▲大野ダム方面に向かって歩き始める参加者

「美山の里で心身ともにリラックス」

（11/3 美山かやぶきの里ワンデーマーチ）

みんなのひろば

まちの話題を紹介します



▲緊張もほぐれ会話も弾むバーベキュー

るり溪温泉ポテポテパークで市が主催する婚活イベントを開催。市内在住の男性18人と市内外から女性20人が出会いを求めて参加されました。1対1での自己紹介、キノコ狩りと時間とともに緊張もほぐれ、バーベキューではテーブルごとに会話も弾みました。最後に全員でオクラホマミキサーに合わせてフォークダンス。子どものころの記憶を頼りに輪をつくりましたがうまくできず、あちらこちらから笑いが起こりました。参加者の女性は「おいしい料理を食べながら、あっという間に時間がすぎました。楽しかったです」と話してくださいました。

「癒しの森で素敵な出会いのひと時」

（11/14 南丹市婚活イベント）



▲オクラホマミキサーでフォークダンス(?)

「たすきに思い込め 仲間と力のかぎり」

（11/20 第6回南丹地区小学校駅伝競走大会「キッズふれあい駅伝」）



▲保護者や先生、友人の声援を受け懸命に走る児童たち

南丹地区の全43小学校から各校1チーム、4年生以上の児童約340人が参加し、駅伝競走と持久走が園部公園陸上競技場で行われ、健脚を競いました。大会は小学生の体力・運動能力の向上を図ることなどを目的に開催し、駅伝競走は6区間計7.5*で、奇数区を男子、偶数区を女子が力走。また、補員の児童は持久走の部（1.2*）に出場しました。この日に向け練習を重ねた児童たちは、応援に駆け付けた保護者らの声援を受け、たすきの「おもみ」を感じながら、懸命にたすきをつなぎました。

お詫びと訂正 広報なんたん10・11月号の記事に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正します。

8ページ…(誤)片山若菜さん⇒(正)片山若奈さん



▲活動の紹介などをするパネリスト

今年で設立10周年を迎える美山町ボランティア連絡協議会が、美山文化ホールで記念シンポジウムを開催。「10年をふり返って」をテーマに行われたパネルディスカッションでは、美山手をつなぐ会初代会長、手芸ボランティアほのぼのの代表、人形劇団そらまめ代表、美山中学校ボランティア部の生徒が会を設立した経過や苦労したこと、活動を通して感じる喜びなどを語られました。また、片山若奈さん（美山中3年）が少年の主張で府知事賞を受賞した作品を発表され、会場からは大きな拍手が送られました。

（11/20 美山町ボランティア連絡協議会設立10周年記念シンポジウム）

「助け合いの温かい心にあるありがとう」

毎年恒例のひよし水の杜フェスタがスプリングパークで開催され、市内外から多くの方が訪れました。雲の多い天気となりましたが、芝生広場一帯に24の模擬店が並び、うどんやたこ焼きに舌鼓を打ちながら、保育園児による太鼓演奏や爆笑漫才などのステージ発表を楽しみました。また、南丹船井交通安全大会がステージで行われ、交通安全に功績のあった個人や団体を表彰。府警音楽隊の演奏やよさこいの発表に多くの観客が集まりました。



▲ステージに詰め掛けた多くの人々

（10/24 ひよし水の杜フェスタ2010）

「見て・食べてひよしの秋を満喫」

八木農村環境公園「氷室の郷」で地元産野菜の販売や「かえっこバザール」、ダチョウの卵の試食・ミニ運動会などの多彩なイベントが催されました。恒例のミニ運動会に参加された人たちはパン喰い競争や玉入れなどを楽しみました。当日は、強い風が吹くあいにくの天気でしたが、使わなくなったぬいぐるみや絵本などを参加者が持参・交換する「かえっこバザール」やマイはし・マイ皿・マイごみ袋を持参する「ごみゼロの日」の環境に配慮した取り組みはすっかり定着しています。



▲地元産野菜販売やミニ運動会など多彩なイベントを実施

（11/23 2010氷室の郷収穫まつり）

「実りの秋にスポーツも環境も楽しむ」



▲保護者らの声援を受け、各コートで熱戦が展開

南丹市内での剣道の交流を目的に、南丹市スポーツ少年団主催の第1回大会が園部中学校体育館で開かれました。小学1年生から社会人指導者まで約120人が出場し、熱戦が繰り広げられました。これまで、園部と美山で大会が開催されていましたが、同スポーツ少年団が平成18年に発足。この日が南丹市として初めての開催となりました。森為次本部長が「交流を通して剣道の良さ・楽しさを実感し元気を発信してください」とあいさつ。選手たちは、日ごろの鍛錬の成果を遺憾なく発揮しました。

「初の交流会つばぜり合いが続く」

（11/23 第1回南丹市剣道交流大会）

ニュースダイジェスト

— 広報なんたん 2010 —

平成22年の南丹市1年間の主な出来事をカレンダーにして振り返りました。

3月

13日・14日 JR山陰本線複線化開業記念列車出発式、JR山陰本線複線化記念イベント

13日、JR山陰本線京都-園部間の複線化が開業。園部駅から京都駅に向けて記念列車が出発しました。




14日、園部駅西口で複線化記念イベントを開催。ペーパークラフトやミニ鉄道の運転を楽しみました。

23日 南丹市民生委員・児童委員全員研修会
30日 牧野修教育長退任


4月

- 1日 南丹市消防団入退団式・辞令交付式
「市民参加と協働の推進に関する条例」施行
市民参加と協働によるまちづくりがスタート
京都地方税機構での滞納整理業務開始
戸別所得補償モデル対策事業開始
森栄一教育長就任
- 3日 第17回大堰川さくら祭り
- 3日~11日 第25回京都・美山大野ダムさくら祭り
- 11日 京都府知事・南丹市長選挙
南丹市長選挙に3人が立候補。佐々木稔納市長が再選を果たされました。
- 17日 ドクターヘリ運航開始
京都、兵庫、鳥取の3府県での共同運航が開始。緊急医療体制の充実が図られました。
- 23日 達人バンク運用開始
専門的な知識や技能を有している市民が登録し、地域の行事などでその能力を発揮いただきます。
- 25日 第13回日吉ダムマラソン大会
京都府消防協会南丹船井支部教育訓練

1月

- 4日 新春賀詞交換会
- 10日 南丹市消防団出初式
団員の功績、勤続をたたえて、京都府消防協会長表彰、市長表彰、団長表彰を行いました。
- 南丹市成人式
新成人330人出席の下、園部公民館で20歳の門出を祝いました。
※対象者 448人
・園部 252人
・八木 86人
・日吉 60人
・美山 50人
- 30日~31日 南丹文化ジョイントプログラム2009
 子どもたちによる伝統芸能の発表、幼児から学生までの美術工芸作品の展示、工芸体験など、国民文化祭イベントとして開催しました。
- 30日~2月6日 かやぶきの里雪灯廊
- 31日 ^{おおい}大堰川ジョギング大会

2月

- 7日 南丹市議会議員一般選挙
初めて市全域を一つの選挙区として執行。定数は4減の22人に。現職14人、新人8人が当選。
- 21日 南丹市スポーツ・文化賞表彰式
市のスポーツおよび文化の振興・発展に貢献された13団体と114人の方々を表彰。
- 第4回美山フォーラム
- 25日 国道9号歩道つかい初め式
- 28日 なんとにあんKidsカーニバル
韓国や米国など6カ国に関するクイズに答えるため、ブースを巡り、その国の遊びや写真パネルで異文化を体験しました。
- 

- 31日 「南丹市大規模災害時等における物資供給に関する協定書」調印式
大規模災害時などに、速やかに被災者支援を行う体制が整いました。

9月

- 1日 農業用道路園部日吉線第2工区供用開始
15日 南丹市共同募金委員会設立委員会
18日 第10回「能楽の夕べ」美山かやぶき薪能
19日～20日 第10回星をもとめて

10月

- 2日 環境ウォーキング
5日 第17回地域に開かれたダム全国連絡協議会現地交流会
7日 第5回南丹市身体障害者福祉会スポーツ大会
10日～11日 園部スポーツフェスティバル
19日 南丹市戦没者追悼式
23日 なんとんビートフェスティバル
24日 ひよし水の杜フェスタ2010
30日～31日 南丹ものづくりの祭典
2日間にわたって南丹市の「ものづくり力」を市内外にアピール。多数の来場者に、地域に根付く食文化や伝統の技を体験いただきました。
31日 南丹サンサン祭2010

11月

- 3日 美山ふるさと祭・かやぶきの里ワンデーマーチ
南丹市文化祭総合開会式
8日～26日 市政懇談会



『共に語ろう、これからのまちづくり』をテーマに市内12会場で懇談会を開催。延べ403人に参加いただきました。

- 14日 南丹市婚活イベント
20日～21日 第22回京都・美山大野ダムもみじ祭り
23日 南丹市剣道交流大会
2010氷室の郷収穫まつり

12月

- 3日 南丹市民生委員・児童委員退任式、就任式
28日～29日 南丹市消防団年末警戒

5月

- 12日 南丹船井交通安全協会南丹支部総会
25日 南丹市環境を守り育てる会総会
30日 2010美山サイクルロード
31日 南丹市防災パトロール

6月

- 1日 安心メール@南丹市運用開始
4日 南丹市美山エコツーリズム推進協議会設立総会
10日 中心市街地コミュニティビジネス創出事業『子育てcomiかふえこしまや』オープン
27日 第4回南丹市男女共同参画フォーラム『キラリなんとん!』
30日 岸上吉治副市長退任

7月

- 1日 市役所組織再編
総務部に公有財産の取得・処分などを担当する「財産管理室」を新設。企画推進課に市民の皆さんのまちづくり活動のサポートなどを担当する「協働推進係」を新設しました。
松田清孝副市長就任
11日 第22回参議院議員通常選挙
17日 南丹市美山和泉交差点観光交流広場オープン記念式典・オープニングイベント
18日 第2回南丹市消防団操法大会
ひよし夏祭り2010
31日 2010南丹そのべ夏まつり

8月

- 1日 第21回京都府消防操法大会
7日～8日 天若湖アートプロジェクト「あかりがつなぐ記憶」
14日 第64回南丹市やぎの花火大会・「殉難碑」除幕式
50年前の水害で救助活動中に亡くなった3人の自衛隊員を弔う「殉難碑」周辺の整備が完了し除幕式が行われました。



- 日吉駅(旧殿田駅)、胡麻駅開業100周年記念式典
それぞれの駅の開業を祝い、園部一綾部間の複線化に向けての取り組みを確認しました。
15日 第27回清流美山の鮎まつり
26日 南丹市優良建設工事表彰式

なんたんミュージアム -24-

—南丹市立宮島小学校—

※担任の先生、担当教科の先生の講評を掲載しています。

「どんどこ あばれじし」

西尾 日菜多さん（1年）



▲踊っている友達の動き、体の色、テープなどの細かい部分にも気を付けて、良く見て描きました。

「水族館のえさやりタイム」

笹江 竜也さん（3年）



▲水族館で魚にエサを与えている様子を、人と魚を重ねることによって、生き生きと描けました。

「ゴーヤ」

林 寛斗さん（4年）



▲ゴーヤの粒を1粒ずつ丁寧に描き、色の塗り方によってうまく立体感を出すことができました。

「創造」

倉内 道隆さん（6年）

創造

六年 倉内道隆

▶自信あふれる文字を半紙に書き上げています。はらいに気を付けて仕上げることができました。

編集後記

暑がりの私にとって、冬は寒けりゃ重ね着すればいいぐらいの気持ちで、寒さはあまり気になりませんでした。ところがここ数年、寒さが身にしみるようになり、上下あつたか下着を装着の日々。これは代謝が落ちているから？今年（うさぎ）年。いつまでも走って、跳んでできるよに鍛えないといけませんね。

（年男・Y0）



市の花 さくら 市の木 ふな 市の鳥 オオルリ

森・里・街がきらめくふるさと 南丹市 なんたんし



●総人口：34,604人（-54）
（男：16,626人・女：17,978人）
（-30） （-24）
●世帯数：13,628世帯（-6）
（平成22年12月1日現在）
（ ）内は前月比



●日吉町 磯部 希歩ちゃん（5歳・右）
も 桃佳ちゃん（2歳・左）
いつまでも姉妹仲良く、元気に育ってね！ （パパ・ママより）

写真掲載の応募をお待ちしています。（応募数によっては順番待ちになることがあります）詳しくは情報推進課広報広聴係まで

広報 なんたん

編集・発行：南丹市役所 企画管理部情報推進課
〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

TEL:0771-68-0019 FAX:0771-63-0653
URL:http://www.city.nantan.kyoto.jp
e-mail:jouhou-s@city.nantan.kyoto.jp



本紙は環境への配慮から、水なし印刷、森林認証紙、ベジタブルインク（植物油）を採用しています。